

仕 様 書

1 業務名

清掃事務所ボイラー及び貯湯槽点検整備業務

2 業務内容

別紙1及び別紙2に基づき、各清掃事務所の真空式温水ヒータ及び貯湯槽の点検整備を行う。

(1) 履行場所

名称	所在地
中央清掃事務所	南区南30条西8丁目7-1
北清掃事務所	北区屯田町990-3
東清掃事務所	東区丘珠町873-1
白石清掃事務所	白石区東米里2170
西清掃事務所	西区発寒15条14丁目2-1

(2) 履行期間

契約締結日から令和7年9月12日まで

(3) 型式・仕様

名称	型式・仕様	数量
中央清掃事務所	ヒラカワ製真空式温水ヒータ VEC-80ES 800,000Kcal/h、伝熱面積10.3㎡	1
	貯湯槽（容量5.5m ³ ）ステンスクラッド [®] 鋼板製	1
北清掃事務所	日本サーモエナー製真空式温水ヒータ KSAN-100WH 116kW、伝熱面積4.0㎡	1
	貯湯槽（容量4.0m ³ ）	1
東清掃事務所	日本サーモエナー製真空式温水ヒータ KSAN-100WH 116kW、伝熱面積4.0㎡	1
	貯湯槽（容量4.0m ³ ）	1
白石清掃事務所	タクマ汎用機械製真空式温水ヒータ KSAN-100HH 116KW/h(100,000Kcal/h)伝熱面積4.0㎡	1
西清掃事務所	ヒラカワ製真空式温水ヒータ VEC-80ES 800,000Kcal/h、伝熱面積10.3㎡	1
	貯湯槽（容量5.5m ³ ）ステンスクラッド [®] 鋼板製	1

3 提出書類

次表の書類を提出すること。

業務完了届には、作業前、作業後の様子を写した写真を添付すること。

点検報告書については、各清掃事務所ごとにまとめて2部提出すること。

名称	提出時期	部数
業務着手届（自由様式）	業務着手時すみやかに	1部
業務責任者指定通知書（自由様式）		1部
業務責任者経歴書（自由様式）		1部
業務日程表（自由様式）		1部
業務完了届（自由様式）	業務完了後すみやかに	1部
点検報告書（自由様式）		2部

4 その他

- (1) 本業務の履行においては、札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷低減に努めること。
 - ア 電気、水道または温水等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
 - イ ごみの減量及びリサイクルに努めること。
 - ウ 両面コピーの徹底やミスコピーを減らし、紙の使用量を減らすよう努めること。
 - エ 業務に係る用品等は、札幌市グリーン購入ガイドラインに従い、極力ガイドライン指定品を使用すること。
- (2) 本業務の履行に関しては、施設に支障のないよう十分に打合せの上実施すること。
- (3) 作業日時については、各施設担当者と協議のうえ決定すること。
- (4) 業務実施に必要な機器、工具及び消耗品類は、受託者の負担とする。
- (5) 本仕様書に記載されていない事項はすべて令和5年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『建築保全業務共通仕様書』による。
- (6) その他本仕様書に定めのない事項については、市担当者と協議のうえ決定する。

5 発注担当

環境局環境事業部業務課業務係 石島

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 13階

TEL：011-211-2916

Email：seiso-gyomu@city.sapporo.jp

真空式温水発生機の点検

【別紙1】

- 温水発生機は、燃料として灯油、重油、ガスを使用するものに適用する。
- 消防法及び同法に基づく各地方条例、危険物の規則に関する政令及び同規則、ガス事業法並びに液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律等の関係法令を順守し、適切に実施する。
- 給水ポンプ、オイルポンプ又は送風機を付属する温水発生機の当該付属機器は、4. 4. 7「ポンプ」又は4. 4. 8「送風機」による。
- 点検項目及び点検内容は次表による。

1/2

点 検 項 目		点 検 内 容	備 考
基礎・固定部		き裂、沈下等の有無を点検する。	
		ボルトの緩みの有無を点検する。	
外 観 状 況	本体	汚れ、燃焼ガスの漏れの有無を点検する。	
		焚口、掃除口付近の焼損の有無を点検する。	
	保温材	脱落、損傷等の有無を点検する。	
内 部 状 況	燃焼室及び伝熱面	清掃のうえ、過熱、腐食等、劣化及び水漏れの有無を点検する。	
		真空度が規定の許容範囲にあることを確認する。	
		燃焼ガス漏れの有無を点検する。	
		運転時にボイラー水位が規定の許容範囲内にあることを確認する。	
	熱交換器	接続部に水漏れの有無を点検する。	
		汚れ及び詰まりの有無及び流量の適否を点検する。	
		逃し弁を分解清掃し、腐食、損傷等の有無を点検する。	
	煙道及び煙突	割れ、腐食等の劣化及び雨水の浸入の有無を点検する。	
		排ガスの漏れの有無を点検する。	
		耐火レンガ・キャストブルの破損及び脱落並びにすすの堆積の有無を点検する。	
付 属 品	抽気装置	作動の良否を点検する。	
		抽気ポンプのグランドパッキンの損傷の有無を点検する。	
		弁の損傷等の劣化及び詰まりの有無を点検する。	
		配管接続部の緩み及び水漏れの有無を点検する。	
		抽気ブローの良否を点検する。	
	制御安全装置	温度調節器の作動の良否を点検する。	
		溶解栓及び温度ヒューズの異常の有無を点検する。	
		抽気スイッチ及び安全スイッチの作動の良否を点検する。	

点 検 項 目		点 検 内 容	備 考
燃 焼 装 置	バーナー	炎口部に付着したすす、カーボン、未燃分等の汚れを清掃する。	
		点火、消火の良否を点検する。	
		炎の色及び形状並びに燃焼音等の燃焼状態の良否を点検する。	
		ノズル、ディフューザー、バーナータイル等の焼損、変形、割れ等の有無を点検する。	
	電極棒	異物の付着及び腐食の有無を点検する。	
	ストレーナー	漏れの有無を点検する。	
	電磁弁、油圧計	作動の良否を点検する。	
	火炎検出器	火炎検出器を取外し、検出部の汚れ、焼損、き裂等の有無を点検する。	
		検出部の装着及び接触の良否を点検する。	
	燃料遮断弁	油燃料遮断弁は、バーナーの燃料停止時に、バーナーノズルからの油の滴下量が規定値以下であることを確認する。	
		弁及び配管との接続部に漏れの有無を点検する。	
操 作 盤		盤内機器の取付けの良否及び過熱及び異臭の有無を点検する。	
		端子の変色、さび及び汚れの有無を点検する。	
		温水発生機運転時の盤内部の温度状況及び 結露水の有無を点検する。	
		表示灯の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。	
		表示灯の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。	
		表示灯の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。	
記事			

貯湯槽の点検

【別紙2】

○貯湯槽の点検項目及び点検内容は、次表による。

1/1

点 検 項 目			点 検 内 容	備 考
基礎・固定部	基 礎		き裂、沈下等の有無を点検する。	
	架 台		曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	
	保温材		脱落、損傷等の有無を点検する。	
	基礎ボルト等	基礎ボルト、取付ボルト	緩み、損傷等の有無を点検する。	
		固定金具	緩み、損傷等の有無を点検する。	
	配管支持の状態		変形の有無を確認する。	
外観の状況	内 部	付着、堆積物の有無を点検する。		
		割れ、腐食、損傷等の有無を点検する。		
	加熱管	異物の付着の有無を点検する。		
		割れ、変形、腐食等の有無を点検する。		
	締付けボルト	緩みの有無を点検する。		
		腐食、曲り等の有無を点検する。		
圧力計、水高計及び温度計			指針が大気圧の下でゼロ点の指示を確認する。	
			損傷等の有無を点検する。	
			導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の詰まりの有無を点検する。	
			温度計感温部に腐食、損傷の有無を点検する。	
付属管及び弁	逃し管	詰まりの有無を点検する。		
		保温材の脱落、損傷の有無を点検する。		
	その他の管	変形、腐食、曲り等の有無を点検する。		
		結露の有無を点検する。		
		伸縮継手の作動の良否		
		伸縮継手の損傷等の有無を点検する。		

点 検 項 目		点 検 内 容	備 考
付 属 管 ・ 弁	安全弁、逃し弁	分解のうえ清掃する。	
		弁、弁座の損傷の有無を点検する。	
		各部品を清掃し、損傷等の有無を点検する。	
		組立て後、原則として吹出しテストをする。	
	減圧弁	1 次側及び 2 次側の圧力計の圧力変動が許容範囲内にあることを確認する。	
		損傷等の有無を点検する。	
	その他の弁	作動の良否を点検する	
		損傷等の有無を点検する。	
温度調整弁		作動の良否を点検する	
		損傷等の有無を点検する。	
		スケールの付着の有無を点検する。	
蒸気トラップ		分解清掃する。	
		損傷等の有無を点検する。	
防食装置	流電陽極法	防食材の消耗の程度を点検する	
	外部電源法	電極線の消耗の有無を点検する。	
		絶縁状態の有無を点検する。	
溶解栓		劣化有無を点検する。	
記事		タンク内の清掃作業は、受水槽の清掃に準拠する。 清掃作業員は、健康状態の良好なものが行う。	